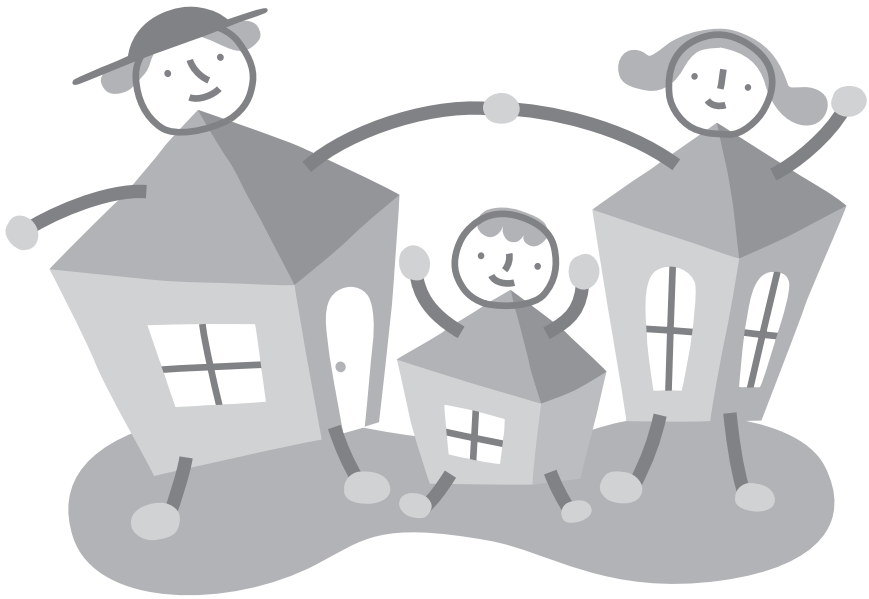
PART 1 全体の調査結果

第3章 父親のかかわり

木村　治生



第1節 父親の帰宅時刻

北京と上海は、18～19時台に帰宅する比率が半数を超え、帰宅時刻が早い。一方、21時以降（「21時台」から「1～5時台」の合計）に帰宅する比率は、東京55.3%、ソウル37.4%、北京17.8%、上海14.4%、台北18.2%であり、東京は帰宅時刻の遅い父親が多い様子がうかがえる。

日本では、父親が積極的に育児にかかわらないことが、少子化の進行や母親の育児不安を高める要因の1つとして考えられている。たとえば、平成16年に閣議決定された『少子化社会対策大綱』には、「父親が親としての役割を積極的に果たすことが、子育て家庭の育児ストレスや不安の解消のみならず、子どもの健全な育ちのためにも重要」にもかかわらず、日本の父親は「育児にかける時間が世界でも突出して少ないことが指摘」されていると述べられている。

このように、子どもとのかかわりや母親とのパートナーシップが不十分だと指摘されることが多い日本の父親たちだが、今回、調査対象となった都市の父親たちは、子どもとどのようなかかわりをしているのだろうか。また、母親はそれをどのように認識し、評価しているのだろうか。本章では、この点について考察していくことにする。

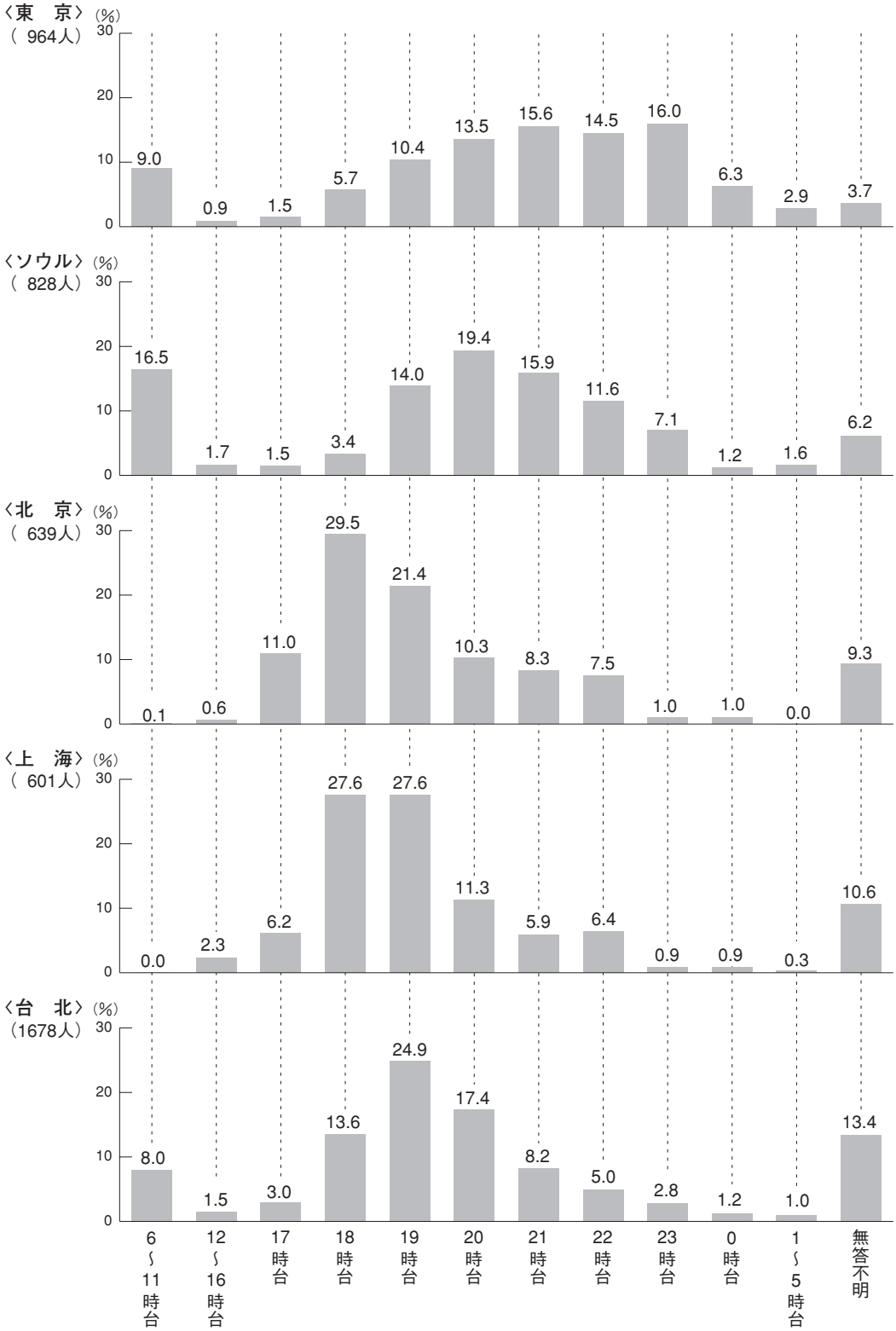
父親の帰宅時刻

第1章で概観したように、幼児の平均就寝時刻はいずれの都市でも21～22時台であった。父親の帰宅時刻が遅くなれば、子どもは先に寝てしまうため、父子がかかわる時間は少なくなると考えられる。そこで最初に、父親の帰宅時刻からみていこう。

図3－1－1は、各都市の父親の帰宅時刻を示したものである。これをみると、都市により分布の状況がかなり異なる様子がみてとれる。帰宅時間帯が最も早いのは、北京と上海である。この両都市は、「18時台」と「19時台」にピークがあり、21時以降（「21時台」から「1～5時台」の合計）に帰宅する比率は1割台である。ほとんどの父親が子どもの就寝時刻の前に帰宅していることがわかる。次に早いのは、台北であり、「19時台」が24.9%で最も多く、「20時台」17.4%が続く。ソウルは「20時台」が19.4%で最も多いが、21時以降に帰宅する父親も37.4%で3人に1人の割合を超える。

5都市の中で、父親の帰宅時刻が最も遅いのは東京であり、子どもが起きているであろう「17時台」から「20時台」に帰宅している比率は31.1%にとどまる。一方、21時以降に帰宅する比率は55.3%と半数を超えていた。東京は回答の散らばりが多いのも特徴である。「19時台」から「23時台」まで1割台で推移しており、父親によって帰宅時刻に幅がある様子がうかがえる。

■図３－１－１　父親の帰宅時刻



注）配偶者がいる母親の回答のみ分析（父親が在宅ワークや無職の人も母数に含んでいる）。

第2節 家事や育児への参加状況

相対的にみて、東京の父親は家事への参加頻度が少ない傾向がみられる。さらに、育児への参加に関しても、東京の父親は子どもと遊ぶ頻度が少ないようである。たとえば、どれくらい「子どもと一緒に室内で遊ぶ」かをたずねたところ、「ほとんど毎日する」＋「週に３～５回する」と回答した割合は、東京以外の都市では４～５割台であるのに対して、東京は26.8%であった。

父親の家事参加の状況

ここでは、各都市の父親たちが家事や育児にどれくらい参加しているのかをみていくことにする。まずは、「①買い物をする」「②食事のしたくをする」「③食事の後片付けをする」「④掃除をする」といった基本的な家事を、週にどれくらいの頻度でしているのかたずねた結果を確認しよう（**図３－２－１**）。

最初に全般的な傾向をみると、東京の父親は、いずれの項目でも「ほとんど毎日する」や「週に３～５回する」といった高い頻度での参加が少ない。また、「ほとんどしない」という回答は、すべての項目で最も高い比率になっている。平日の帰宅時刻が遅いことと関連しているかもしれないが、東京の父親は相対的にあまり家事をしていない様子がみられる。

次に、項目ごとの状況を概観しよう。

週１回以上行っている比率（「ほとんど毎日する」＋「週に３～５回する」＋「週に１～２回する」、以下同様）に注目すると、「①買い物をする」は台北が82.4%と最も高い。また、ソウル、北京、上海はいずれも６割５分程度で、３人に２人が行っている。これに対して、東京は52.3%と半数程度にとどまる。

「②食事のしたくをする」は、全体にどの都市でも比率が低く、過半数に満たない。相対的には北京が46.1%と高く、つづいて、ソウル（32.6%）が３割台、上海（26.9%）、台北（25.2%）、東京（21.6%）は、２割台である。

「③食事の後片付けをする」は、台北（55.0%）と北京（53.4%）が半数を超え、ソウル（47.0%）と上海（45.6%）が５割をわずかに下回る。ここでも東京は、最も低く、35.0%である。

さらに、「④掃除をする」は、ソウル（59.7%）、北京（51.3%）、台北（50.8%）で過半数に達しているが、上海（35.9%）と東京（27.4%）の父親が行っている比率は低い。

このように、項目によって都市の順位は入れ替わりがあるが、相対的にみて、ソウル、北京、台北の父親は、家事への参加率が高い様子がうかがえる。

■図３－２－１　父親の家事参加の状況

注）配偶者がいる母親の回答のみ分析。

父親の育児参加の状況－東京の傾向

つづいて、**図３－２－２**から育児参加の状況をみていこう。まずは東京の父親の傾向について概観したい。

東京の父親は他の都市と比べて、「①子どもと一緒に外で遊ぶ」「②子どもと一緒に室内で遊ぶ」といった遊びの頻度が少ない。また、「⑤子どもを寝かしつける」も相対的に少ない傾向がみられる。これに対して、「③子どもをお風呂に入れる」機会は多いようで、「ほとんどしない」という回答は15.5％と比率が低い。

東京の父親が子どもと遊ぶ頻度が少ないのは、都市ごとに文化的な背景が違うからであり、その分をお風呂に入れるなどの日本に特徴的なかかわりで代替しているとも解釈できる。とはいえ、室内外を問わず「遊ぶ」といった基本的なかかわりが少ないのは、気がかりな傾向である。さらに、こうした子どもとのかかわりは、**図３－２－３**に示すように帰宅時刻により大きく左右される（詳細については、『第３回幼児の生活アンケート報告書・国内調査』p.109を参照）。前節でみたように東京の父親は帰宅時刻が遅いという現状を踏まえると、子どもとかかわる頻度は他都市と比べて少ないのではないかと推察される。

父親の育児参加の状況－項目ごとの特徴

次に、項目ごとの数値をみてみよう。

まず、「①子どもと一緒に外で遊ぶ」であるが、週３日以上の比率（「ほとんど毎日する」＋「週３～５日する」、以下同様）は、ソウル、北京、台北が２割、上海が１割５分であるのに対して、東京はわずか1.7％である。さらに、「②子どもと一緒に室内で遊ぶ」について週３日以上の比率は、北京が54.2％で最も高い。つづいて、ソウル、上海、台北の３都市は４割台だが、ここでも東京の比率が低く26.8％にとどまっている。全般的に、北京の父親に子どもとよく遊ぶ傾向があらわれている。

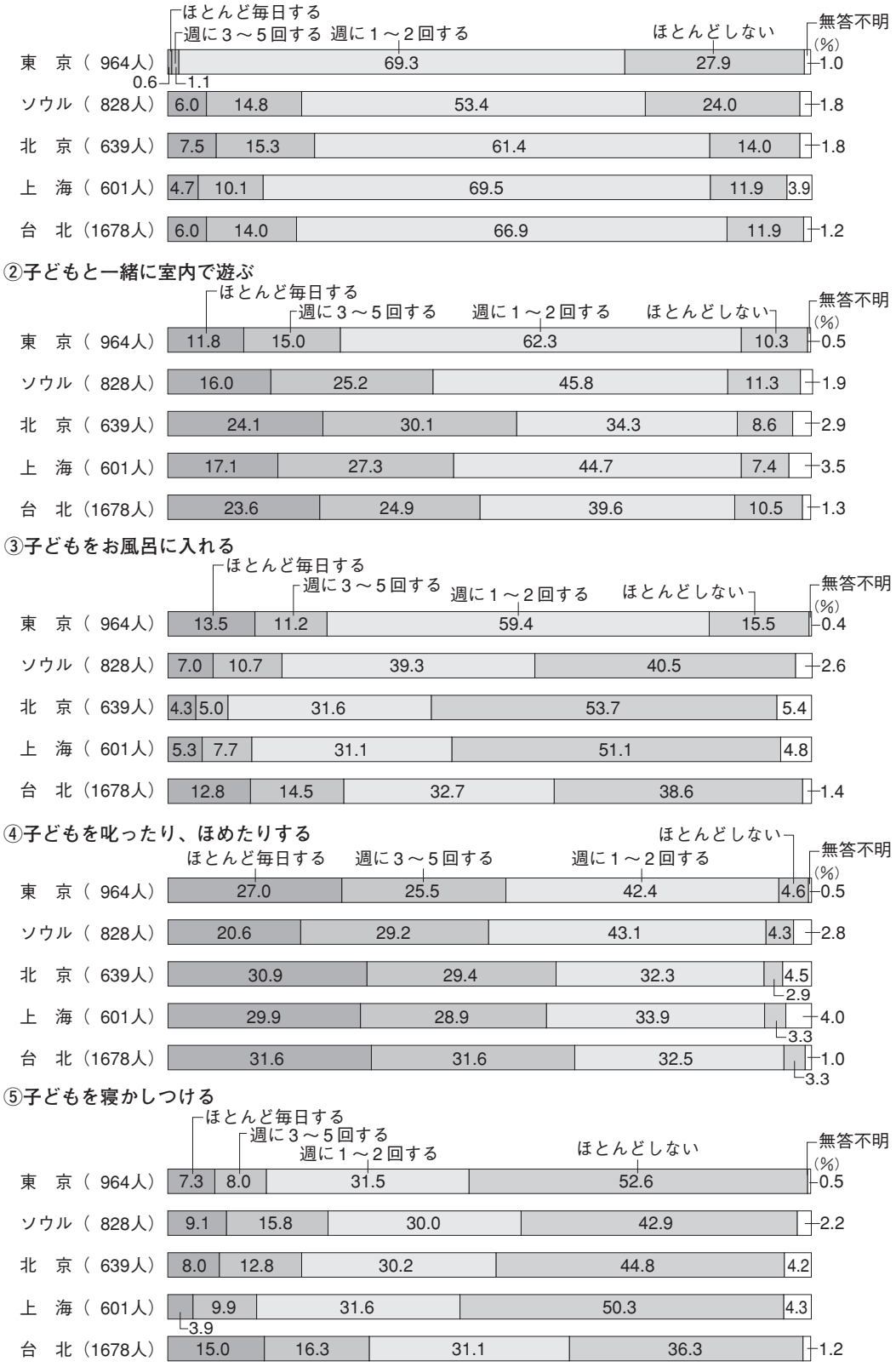
しかし、「③子どもをお風呂に入れる」は、北京や上海の比率が低く、東京や台北の比率が高い。東京は、週３日以上の比率が台北に続いて高いうえに、「ほとんどしない」という回答が15.5％と少ない。子どもをお風呂に入れるのは父親の役目という意識が日本の父親たちにはあるが、他都市ではそれほど明確な役割にはなっていないのではないかと考えられる。

「④子どもを叱ったり、ほめたりする」は、いずれの都市でも頻度が高く、週３回以上の割合は、東京とソウルで約５割、北京、上海、台北で約６割となっている。「ほとんどしない」という回答は、各都市とも５％以下である。

一方、「⑤子どもを寝かしつける」のは、全体的にいずれの都市でも頻度が低い。週３回以上の比率が最も高いのは、台北（31.3％）で、ソウル（24.9％）、北京（20.8％）、東京（15.3％）、上海（13.8％）の順になっている。

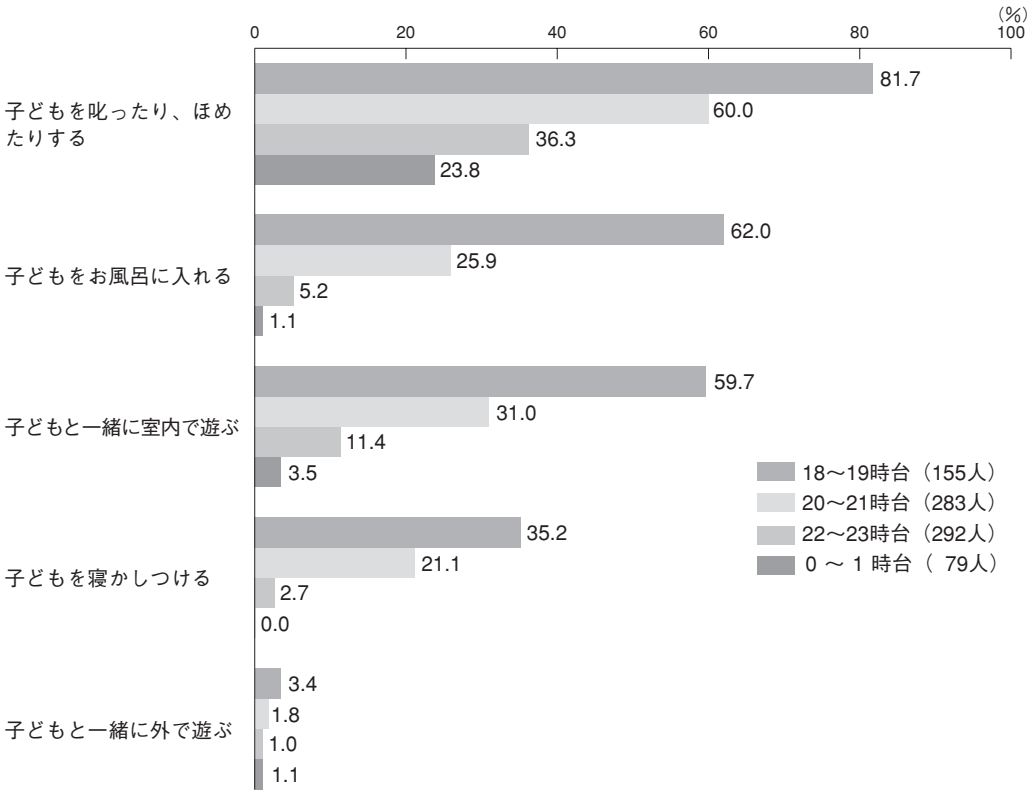
以上のように、育児への参加頻度は、項目によって都市の順位が入れ替わっており、特定の都市がすべての項目で高い・低いといった一定の傾向はみられない。また、家事の各項目との比較で言えば、総じて頻度が高く、父親は家事よりも育児のほうに積極的に参加している様子がみられる。

■図３－２－２　父親の育児参加の状況



注）配偶者がいる母親の回答のみ分析。

■図３－２－３　父親の育児参加の状況（東京　父親の帰宅時間帯別）



注１）「ほとんど毎日する」＋「週に３～５回する」の%。
注２）配偶者がいる母親の回答のみ分析。
注３）「18～19時台」は、父親が「18時台」もしくは「19時台」に帰宅すると回答した人。他の時間帯も同様である。
注４）「18～１時台」以外の回答をした人は、図から省略した。

第3節 父親のかかわりに対する満足度と要望

父親の家事参加に対して「満足している」割合は、各都市とも５～６割程度、育児参加に対して「満足している」割合は６～７割程度で、都市による差は大きくはない。しかし、父親にいっそうの家事参加や育児参加を希望するかどうかは、都市によって傾向が異なる。

家事参加に対する満足度と要望

これまで父親たちの家事や育児の参加状況をみてきたが、母親たちはそうした状況に満足しているのだろうか。また、父親にもっと家事や育児に参加してほしいと望んでいるのだろうか。本節では、こうした父親の家事参加、育児参加に対する満足度と、さらなる要望の有無をたずねた結果を確認しよう。

最初に、家事参加に対する満足度である。**図３－３－１**は、「あなたは父親の家事参加に満足していますか」とたずねた結果を示している。いずれの都市も、「とても満足している」という回答は１割前後、「まあ満足している」という回答は４割台となっており、都市間の差はそれほど大きくはない。ただし、「満足している」(「とても満足している」＋「まあ満足している」）の比率は、台北(58.5%)、北京（57.9%)、ソウル（56.1%)の３都市でやや高く、東京（48.8%）と上海(50.6%)の２都市でやや低い傾向があらわれている。前節（図３－２－１）で家事への参加頻度を確認したが、参加頻度が高かった台北、北京、ソウルで、母親の満足度も高く、父親の参加の程度とおおむね一致していることがわかる。また、東京は、「ぜんぜん満足していない」という回答が２割弱と多く、父親の家事参加の頻度の低さが反映しているものと考えられる。

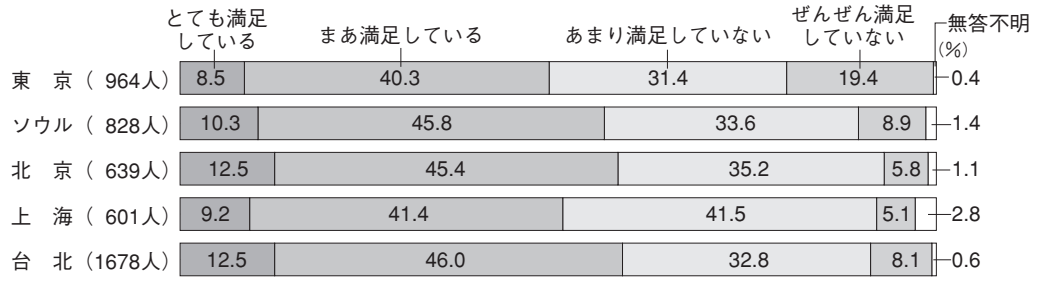
次に、**図３－３－２**から父親の家事参加に対する要望をみてみよう。図は「あなたは父親に、家事にもっと参加してほしいと思いますか」とたずねた結果を示している。全体的には、いずれの都市でも「そう思う」(「とてもそう思う」＋「まあそう思う」）の比率が高く、いま以上の参加を希望する母親が多いことがわかる。「そう思う」の比率を都市ごとにみると、台北（93.4%)、北京(83.8%）で高く、東京（66.6%)、ソウル(67.2%）ではやや低い。ここからは、家事参加の満足度が高い台北や北京などで、いっそうの参加を希望する比率が高くなっていることがわかる。参加しないから要望が強まるといった単純な関係ではなく、参加していても要望がいっそう強まることがあるようだ。

育児参加に対する満足度と要望

つづいて、育児参加に対する満足度を確認しよう。**図３－３－３**をみると、「満足している」(「とても満足している」＋「まあ満足している」）の割合は、東京、ソウル、北京、上海で６割前後、台北で７割弱となっている。実際の育児参加の状況（図３－２－２）は都市によってばらつきがあったが、満足度は都市による差が小さいようだ。しかし、別の言い方をすれば、父親の育児参加に対して「満足していない」(「あまり満足していない」＋「ぜんぜん満足していない」）母親は、いずれの都市でも３～４割程度い

■図３－３－１　父親の家事参加への満足度

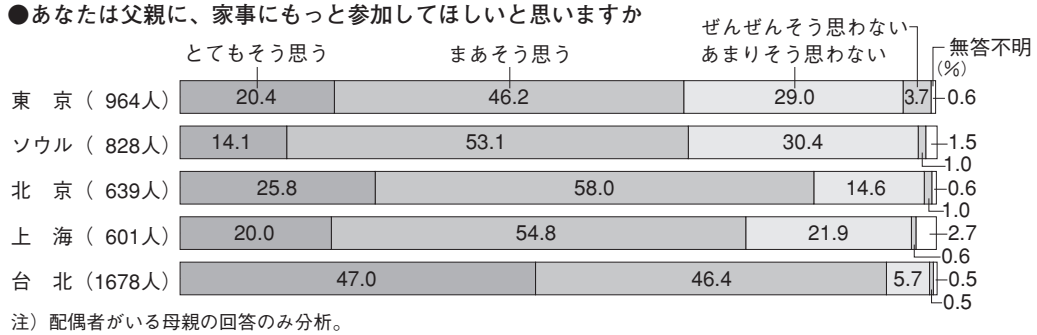
●あなたは父親の家事参加に満足していますか



注）配偶者がいる母親の回答のみ分析。

■図３－３－２　父親の家事参加に対する要望

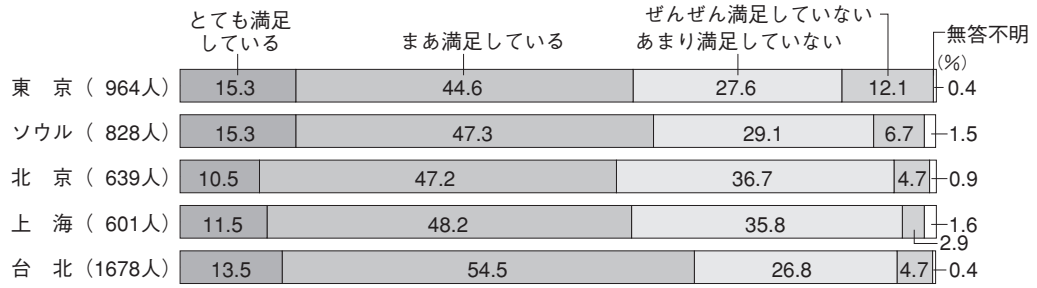
●あなたは父親に、家事にもっと参加してほしいと思いますか



注）配偶者がいる母親の回答のみ分析。

■図３－３－３　父親の育児参加への満足度

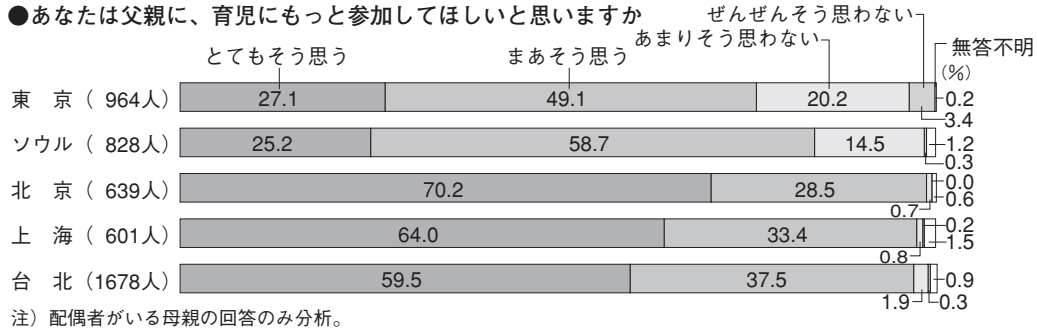
●あなたは父親の育児参加に満足していますか



注）配偶者がいる母親の回答のみ分析。

■図３－３－４　父親の育児参加に対する要望

●あなたは父親に、育児にもっと参加してほしいと思いますか



注）配偶者がいる母親の回答のみ分析。

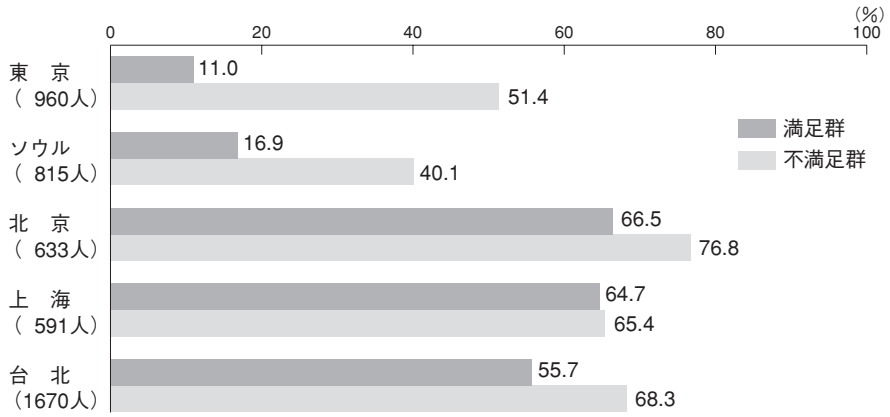
るということでもある。

これに対して、育児参加に対する要望は、都市により傾向が二分される。**図３－３－４**は、「あなたは父親に、育児にもっと参加してほしいと思いますか」とたずねた結果であるが、北京、上海、台北の３都市は「とてもそう思う」と強く希望する母親が６～７割程度と多い。さらに、「まあそう思う」までを含めると、ほとんどの母親は父親のさらなる育児参加を希望している。一方で、東京とソウルは、「とてもそう思う」と強く希望する母親は４人に１人程度であり、「そう思わない」（「あまりそう思わない」＋「ぜんぜんそう思わない」）という母親も、それぞれ23.6％、14.8％と一定の割合が存在する。

そこで、父親の育児参加に対する満足度とさらなる要望との関係をみたのが、**図３－３－５**である。図は、育児参加に「満足している」（「とても満足している」＋「まあ満足している」）と回答した母親を「満足群」、「満足していない」（「あまり満足していない」＋「ぜんぜん満足していない」）と回答した母親を「不満足群」として、育児にもっと参加してほしいと思うかをたずねた項目において「とてもそう思う」と回答した比率を示している。これをみると、東京とソウルの母親は、父親の育児参加に満足していれば、さらなる参加の希望が弱まる様子がみてとれる。これに対して、北京、上海、台北の母親は、満足しているかどうかにかかわらず父親の参加を強く希望する傾向があり、つねに「いま以上」を望んでいるようだ。このように、父親に対する期待も都市によって異なることがわかる。

■図３－３－５　父親の育児参加に対する要望（満足度別）

●あなたは父親に、育児にもっと参加してほしいと思いますか



注１）数値は「とてもそう思う」の％。
注２）配偶者がいる母親の回答のみ分析。
注３）「満足群」は父親の育児参加に対する満足度をたずねる項目で「とても満足している」「まあ満足している」と回答した人、「不満足群」は「あまり満足していない」「ぜんぜん満足していない」と回答した人を示す。
注４）父親の育児参加への満足度について無答不明の人は分析から除外している。